

## 一般社団法人WATALIS 平成27年度事業報告書

事業名	未来を創る手しごとワークショップ 事業	実施期間	平成27年9月～平成28年3月
-----	---------------------	------	-----------------

事業目標	<p>・地域コミュニティ再生と「安心・安全な子育て環境」づくりの加速化 →地域内のコミュニティ形成に寄与する施設の不足に対応するために誰もが自由に入出りできる交流の場を提供(ワークショップや茶話会、バザーの開催)</p> <p>・子育て中の母親や高齢者の孤立化防止のため、社会と繋がる就労への足掛かりをつくる →手仕事による就労の足掛かりとなる技術や販売ノウハウの習得やものづくりに関する仲間を得る機会を提供(ワークショップや茶話会、研修会の開催) →作品販売による就労のプレ体験の機会を提供(バザーの開催) →事業への参画により、生きがいを創出する機会の提供 (実行委員や事業運営ボランティアとして、地域内の高齢者や子育て中の母親を登用)</p>
------	--

事業内容	<p>住民同士の繋がりが希薄化した被災地域において、地域コミュニティを再生し「安全・安心な子育て環境」を創るとともに、「子育て中の母親や高齢者の孤立化防止」のために社会と繋がる就労の機会を生み出すことを目的に、ワークショップや茶話会を定期的に行い、有機的な人的見守りネットワークを構築しながら、手仕事による商品製作技術や販売ノウハウを学ぶ機会を提供し、被災地域住民の生きがいと復興への意欲を創出する事業</p> <p>1. 実行委員会の開催</p> <p>①設置目的 事業実施に関する課題の把握、整理、検討及び事業の進捗管理</p> <p>②委員構成 計6名(一般社団法人WATALIS関係者1名を含む)</p> <p>・委員長 橋元 あゆみ(一般社団法人WATALIS理事 兼 会計)</p> <p>*謝金・旅費対象外</p> <p>・委員 齋藤 淑子(編み物指導/製作指導ボランティア)(謝金対象) 山形 トシ子(理容・着付指導者/茶話会運営ボランティア)(謝金対象) 池座 剛((株)アティックワークス/広報担当者)(謝金・旅費対象) 多々良 言水(公益財団法人共生地域創造財団/復興支援団体関係者)(謝金・旅費対象) 渡邊 武海(有限責任事業組合メディア・ストラータ/デザイン関係者)(謝金・旅費対象)</p> <p>③委員会開催時期、場所、出席人数、議題</p> <p>第1回 実行委員会 &lt;開催時期&gt;平成27年9月3日(木)10:00～12:00 &lt;開催場所&gt;(株)カドサワ A-103 &lt;出席人数&gt;8名(自団体事務局2名) (うち謝金対象5名、旅費対象3名) &lt;議題&gt;</p> <p>○今年度の事業概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成事業の趣旨の確認</li> <li>・事業内容の確認</li> <li>・事業実施のスケジュールの確認</li> </ul> <p>○未来を創る手しごとワークショップの実施内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程及び会場について</li> <li>・講師について</li> <li>・現地協力団体との連携について</li> <li>・ポスター、チラシの内容及び配布先について</li> <li>・広報活動について</li> </ul> <p>地元FMラジオ、東北復興新聞、Webサイトの活用、現地NPOとの連携など</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にメール及び電話で共有していた情報の確認</li> </ul> <p>第2回 実行委員会</p>
------	--

<開催時期>平成27年10月2日(木)10:00~12:00

<開催場所>(株)カドサワ A-103

<出席人数>8名(自団体事務局2名)

(うち謝金対象5名、旅費対象3名)

<議題>

○未来を創る手しごとワークショップの実施状況について(9月)

・ワークショップの内容について(製作物、進行スケジュール)

・参加状況について

・アンケート調査の結果について

第3回 実行委員会

<開催時期>平成27年11月27日(金)10:00~12:00

<開催場所>一般社団法人WATALIS内

<出席人数>8名(自団体事務局2名)

(うち謝金対象5名、旅費対象3名)

<議題>

○未来を創る手しごとワークショップの実施状況について(10月)

・ワークショップの内容について(製作物、進行スケジュール)

・参加状況について

・アンケート調査の結果について

第4回 実行委員会

<開催時期>平成28年2月5日(金)10:00~12:00

<開催場所>一般社団法人WATALIS内

<出席人数>8名(自団体事務局2名)

(うち謝金対象5名、旅費対象3名)

<議題>

○未来を創る手しごとワークショップの実施状況について(11月~1月)

・ワークショップの内容について(製作物、進行スケジュール)

・参加状況について

・アンケート調査の結果について

第5回 実行委員会

<開催時期>平成28年3月22日(火)10:00~12:00

<開催場所>一般社団法人WATALIS内

<出席人数>8名(自団体事務局2名)

(うち謝金対象5名、旅費対象3名)

<議題>

○未来を創る手しごとワークショップの実施状況について(2月)

・ワークショップの内容について(製作物、進行スケジュール)

・参加状況について

・アンケート調査の結果について

○調査報告書作成について

・報告書掲載内容について

・調査報告書に係る原稿執筆担当について

・原稿提出について(書式、期限など)

・最終校正について

・報告書送付先について

・送付作業への協力について

○今年度事業の反省及び改善点について

・事業内容について

・事業実施スケジュールについて

・事業予算について

・他団体との連携について

## 2. ワークショップ・茶話会の開催について

### ①開催目的及び内容

住民同士の繋がりが希薄化した被災地域において、地域コミュニティを再生し「安全・安心な子育て環境」を創るとともに、「子育て中の母親や高齢者の孤立化防止」のために社会と繋がる就労の機会を生み出すことを目的に、ワークショップや茶話会を定期的に開催し、有機的な人的見守りネットワークを構築しながら、手しごとによる商品製作技術や販売ノウハウを学ぶ機会を提供し、被災地域住民の生きがいと復興への意欲を創出した。

地域住民を対象として、誰もが気軽に立寄り交流できる開かれた居場所を開設し、手しごとワークショップと茶話会を組み合わせて定期的に開催。運営に際しては、参加者の居住地には特に制限を設けず、広域的な交流の場創りに努めた。

今年度は、これまで3ヶ年実施してきた手しごとワークショップのノウハウを活かし、就労に向けたトレーニングの要素を強化し、雑貨などの基礎的製作方法を学べるようなメニューを考案し、実施。また、製作後の茶話会では、参加者の事業への参画を促しつつ、互いに交流しながら楽しく学び、時には悩みを語り合えるような場創りに努めた。長期的に事業を持続し、参加者の意欲を高めるための方策として、材料代と茶話会の茶菓代の実費500~1,000円程度/回を徴収し、参加者の受益者負担の意識を高めた。

(講話及び実技研修2時間、交流のための茶話会1時間 計3時間程度)

(講師謝礼対象時間各回ごと2時間)

②開催日

平成27年9月、10月、11月、12月、平成28年1月、2月(各月ごとに6回) 全36回

③場所

被災地域 宮城県亶理町内

WATALISワークショップ会場ほか

(被災地域内の公共施設などは通年で定期的に会場として使用することが困難な状況であるため、WATALIS事務所に隣接する建物を借用。)

④対象者

地域住民(子育て中の保護者、高齢者等 各回15名程度参加)

福島県住民などをはじめ、亶理町以外の住民の参加も積極的に受け入れることで、交流の幅を広げた。製作技術の指導効果を高めるため、適切な参加者数で実施。

⑤講師(各回ごとに1名)

坂本 洋一郎(ミシン専門店クリエイター)(謝金・旅費対象)

秋山 里美(手作り愛好家)(謝金対象)

鈴木 大輔(株式会社日比谷花壇)(謝金・旅費対象)

丹野 正幸(株式会社日比谷花壇)(謝金・旅費対象)

⑥広報

チラシ3,000部、ポスター100部を月1回作成。(年7回)

配布先:地方公共団体、公共施設、災害復興ボランティア関係団体関係者、メディア関係、関係団体、他希望者

労に対する意欲のある高齢者や子育て中の母親を中心としたあらたな参加者の確保に努めた。

⑦開催準備、当日運営補助、後片付けのためのアルバイト

(被災地域である宮城県内在住者1名×4H×36回雇用)

【連携団体の役割】

・公益財団法人共生地域創造財団:ワークショップの円滑な運営のための支援(ボランティア確保・物資提供など)参加者を募るための告知などの広域的な(岩手県・宮城県・福島県など)広報活動

3. 研修会の開催

①開催目的及び内容

バザー出展をはじめとした手しごとにより製作した商品を販売する場面において、必要となる販売ノウハウを学ぶ機会の提供を目的として「商品価値」「商品説明」「展示方法」に関する研修会を開催。手しごとによる就労に意欲を持ちながらも、実践に向けて一歩踏み出すことができず孤立状況にある者同士が、互いに励まし合いながらものづくりによる就労を目指す仲間となれるよう努めた。また、来年度以降の事業運営に向けて、情報発信を迅速かつ円滑に行うため、業者に委託しているHPの更新を内製化するとともに、魅力的な告知によりワークショップの参加者を増やせるよう、「HPの更新」及び「チラシの作成」について専門家から体系的に学ぶためのスタッフ研修会を開催した。研修の成果として、スタッフ内で更新業務のスキルが身についた他、チラシ作成のひな形ができた。

②開催日

<研修会>

○「効果的なプロモーションについて」

平成28年3月4日(金)10:00~12:00

○「販促ツールのデザインについて」

平成28年3月11日(金)10:00~12:00 計2回

<スタッフ研修会>(追加:WAMへ報告済み)

○「ホームページ更新レクチャー①~⑧」

平成28年2月1日(月)・2日(火)・8日(月)・9日(火)・15日(月)・16日(火)・22日(月)・23日(火)各回10:00~12:00 計8回

○「チラシ作成レクチャー①~⑤」

平成28年2月3日(水)・10日(水)・17日(水)・24日(水)・29日(月)

各回10:00~12:00 計5回 全15回

③場所

<研修会>

被災地域 宮城県亶理町内 WATALIS内

<スタッフ研修会>

被災地域 宮城県亶理町内 WATALIS内

④対象者

<研修会>

被災地域住民(バザー出展希望者を中心とした手しごとによる就労を希望する子育て中の保護者、高齢者等 各回11名×2回 延べ22名参加)

<スタッフ研修会>

被災地域住民(WATALISスタッフ等 各回6名×13回 延べ78名参加)

⑤講師

<研修会>

榎本 幸弘(榎本デザイン事務所・編集アドバイザー)(謝金・旅費対象)

高田 次朗((株)メキメキ・Webプロモーションアドバイザー)(謝金・旅費対象)

<スタッフ研修会>

榎本 幸弘(榎本デザイン事務所・編集アドバイザー)(謝金・旅費対象)

高田 次朗((株)メキメキ・Webプロモーションアドバイザー)(謝金・旅費対象)

⑥広報

<研修会>

事業告知のため、チラシを発行した。(200部 1回)  
配布先: ワークショップ参加者、関係団体、他希望者  
WATALISのHPでも事業実施の告知を行った。

<スタッフ研修会>

WATALISスタッフ内で事業告知を共有したためチラシの発行はなし。

⑦開催準備、当日運営補助、後片付けのためのアルバイト

<研修会>

被災地域である宮城県内在住者1名×4H×2回雇用

<スタッフ研修会>

該当なし

4. バザーの開催

①開催目的及び内容

子育て中の母親や高齢者の特性に応じた就労支援として、ワークショップ参加者の中から希望者を募り、ワークショップの開催日にあわせてバザーを開催した。各人が製作した手しごと商品販売し、売上げを製作者に渡すことにより手しごとによる就労への意欲ときっかけを作り、経済的自立をとおして生きがいを見出すための一助とし、長期的視野に立った被災地域内での就労支援を行った。

②開催日

平成28年3月14日(月)～18日(金) 全5回

③場所

被災地域 宮城県亶理町内 WATALIS内

④対象者

地域住民(子育て中の母親や高齢者など出展販売者10名程度、来場者延べ150人 平均20～25人/日)

亶理町以外の住民の参加も積極的に受け入れることで、支援の幅を広げた。特に高齢者や子育て中の母親など、就労が困難な層の参加を促すよう努め、出店希望者には研修会を受講するよう促した。

⑤広報

事業告知のため、チラシを発行した。(200部 1回)

配布先: ワークショップ参加者、関係団体、他希望者

WATALISのHPでも事業実施の告知を行い、集客に結び付けた。

⑥開催準備、当日運営補助、後片付けのためのアルバイト

(被災地域である宮城県内在住者3名×6H×7日雇用(バザー準備、後片付け前後1日含む))

【連携団体の役割】

・公益財団法人共生地域創造財団: バザーの円滑な運営のための支援(ボランティア確保・物資提供など)参加者を募るための告知などの広域的な(岩手県・宮城県・福島県など)広報活動

予算

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成金 4,444,000円

総事業費	4,616,239円
自己資金	145,239円
差引事業費	4,471,000円
助成金返還額	0円

人員体制

主担当: 代表理事 引地恵(助成事業の全体の取りまとめ 実行委員会の開催に関すること)

副担当: 理事 橋元あゆみ(経理担当 ワークショップ・研修会・バザーの開催に関すること)

副担当: 理事 菊地喜久江(事業報告書の作成に関すること)